

○梅の花

○梅の花のトンネル

○作業する小芝さん

○作業の流れを寄り引きで見せる

○花によってくるミツバチ

○話す小芝さん

○梅の木々中ロング

31 和歌山の春、山あいには、梅のほのかな香りが漂います。

32 そう、きしゅうなんこうめ紀州南高梅の花が、満開の時を迎えているのです。

33 こしばてつやこちらの小芝鉄也さんは、この地できしゅうなんこうめ紀州南高梅を作り続けている梅農家。

34 きしゅうなんこうめ紀州南高梅は、その木だけで実を結ぶことができません。そこで花が咲いているこの時期に、木の幹に、違う種類の梅の花を差しておき、ミツバチの手で受粉させるのだそうです。

「ここら田辺の周辺は、梅作りには最適ですよ。結構気候は変わってきていますけども、でもここら雨が多く、気候が暖かくて、その土地柄にあっているというのが。。。」

35 日本の伝統は、その土地の風土にも守られて今に続いています。